

●モンゴル

モンゴルの経済は COVID-19 の世界的大流行の影響によって、引き続き大きな打撃を受けている。2020年11月に初めて報告された COVID-19 の市中感染により、その後、2021年5月8日までに、数次の国全体および地域の封鎖が行われた。5月10日の時点で、モンゴルは国内で4万5459人の COVID-19 の感染者を記録しているが、このうち507人は海外からの入国者である。また死者は170人となっている。ウランバートルは全感染者の88%を占めている。COVID-19 のワクチン接種は2月に開始された。5月8日現在で、215万件の接種が行われ、人口の19.2%に当たる61万8千人が完全に接種を終え、人口の47.6%にあたる153万6千人が1回目の接種を終えている。

2021年第1四半期には経済回復のペースは加速したが、継続する COVID-19 の市中感染の拡大は今後の回復を遅らせる可能性がある。

マクロ経済

2021年第1四半期に実質鉱工業生産 (GIO) は、鉱業部門の生産量の増加により大きく上昇した。2021年2月と3月に、それぞれ前年同月比62.9%と99.6%の大幅な増加となった。鉱業と採石業の生産高は2月と3月に、それぞれ前年同月比2.1倍と2.6倍に増加した。第1四半期の製造業と公益事業の生産高は、それぞれ前年同期比31.5%と8.4%増加した。このセクターは検疫で課された COVID-19 予防のための制限を免除されていたためである。製造業の以前より高い生産高は、食品産業の生産の増加に関連していた。ただし、一部の金属および化学産業を除くほとんどの製造業の生産高は1年前よりも低かった。

2021年第1四半期において、モンゴルの主要な輸出商品の1つである石炭の生産量は前年同期比52.8%増加し1240万トンとなった。銅精鉱の生産量は前年同期比11.3%増加し34万2800トンであった。同時期にモリブデン、蛍石精鉱、鉄鉱石、鉄精鉱などの他の主要輸出商品の生産量は前年同期より高かった。

2021年第1四半期の消費者物価指数 (CPI) の上昇は対前年同期比2.5%であった。2021年3月の食料及び非アルコール飲料の CPI の上昇は前年同期比8.1%となった。一方、住宅、電力、燃料、運輸はそれぞれ5%以上低下した。

通貨トゥグルグの対米ドル平均為替レートは、輸出の伸び悩みと輸入の停滞によって相対的に安定しており、2021年第1四半期は1ドル=2850トゥグルグとなった。

貨幣供給量 (M2) は増加を続け、2021年3月末時点で25.1兆トゥグルグ (88.2億米ドル) となり、トゥグルグベースで前年同期比22.9%、米ドルベースで前年同期比3.3%増加した。企業と雇用を支援するための政府の2兆トゥグルグ貸出プログラムなどの効果により、2021年3月末の貸付残高は17.6兆トゥグルグとなり、前年同期比2.9%増加を記録し、年初来初めての増加となった。3月末の不良債権の割合は11.5%で、前月末の11.8%から若干低下した。

国家財政は2021年2月と3月においてわずかな黒字を記録したが、2021年第1四半期の累積では960億トゥグルグの赤字となった。総平衡収入と海外援助の合計は、前年同期比26.7%増加し、2.63兆トゥグルグとなった。総支出と純貸付は前年同期比15.9%増加し、2.72兆トゥグルグとなった。税金は前年同期比25.6%増、非税収入は同40.3%増であった。同時に、海外からの援助は4倍に増加し、168億トゥグルグまたは600万ドルとなった。社会保障負担金と燃料税などの特別目的の税金を除いて、すべてのカテゴリーで税金が増加しました。同時に、1109億トゥグルグと1373億トゥグルグがそれぞれ未来遺産基金と安定化基金に割り当てられた。財政支出の増加は主に、前年同期比12.6%増加した経常支出、前年同期比25.5%増加した設備投資によるものである。外国融資を財源とする純貸付は前年同期比2.2倍に増加した。

外国貿易

2021年第1四半期においてモンゴルは121カ国と貿易を行い、対外貿易の総額は35億ドル、輸出入はそれぞれ20億ドル、15億ドル、貿易黒字は4億7670万

ドルであった。輸出は前年同期比93.1%増加し、輸入は同32.2%増加した。総輸出の88.8%を占める鉱業製品は、前年同期の2倍となった。しかし、非貨幣用金の輸出は前年同期比68.1%減少し、2570万ドルとなった。石炭と銅精鉱の輸出は以前よりも増加し、期間中、それぞれ6億9230万ドルと6億2,110万ドルとなった。国際市場での需要の復活によりモンゴルの石炭および銅精鉱の輸出価格は以前よりも上昇した。

2021年第1四半期の中国への輸出は全体の92.5%を占め、中国からの輸入は全体の39.1%であった。2番目の輸出先はスイスで全体の2.5%であった。スイスへの輸出は事実上すべてが非貨幣用金であった。

同時に、2021年第1四半期のロシアからの輸入は4億690万ドルで全体の26.9%を占めた。モンゴルの唯一の EPA パートナーである日本からのモンゴルの輸入は1億1700万ドルで総輸入の7.7%に相当し、3番目に大きな輸入元となっている。同時に、韓国からの輸入は5960万ドルで総輸入量の3.9%に相当し、4番目に大きな輸入元となっている。

輸送

2021年第1四半期の総貨物輸送量は、鉄道と道路の輸送量の増加により、前年同期比15.7%増加した。第1四半期の鉄道貨物の売上高は前年同期比4.7%増加した。鉱業製品の輸出に関するモンゴルと中国の国境の通過制限が緩和されたため、道路貨物の売上高は前年同期比91.7%増加した。2021年第1四半期の道路輸送による輸送貨物は930万トンで、前年同期の3倍であった。2021年2月と3月の鉄道貨物の売上高は、それぞれ前年同期比5.5%、前年同期比11.1%増加しました。

しかし、COVID-19 パンデミックに関連する制限により、航空輸送は引き続き大きな打撃を受け、2021年第1四半期の航空貨物の売上高は前年同期比48.7%減少した。

ERINA 調査研究部主任研究員
エンクバヤル・シャクダル

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2020年1Q	2020年2Q	2020年3Q	2020年4Q	2021年1Q	2020年2月	2021年3月
実質 GDP 成長率(対前年同期比:%)	1.2	5.3	7.2	5.2	▲ 5.3	▲ 10.7	▲ 9.1	▲ 3.1	▲ 0.3	-	-	-
鉱工業生産額(対前年同期比:%)	12.3	13.0	4.8	2.4	▲ 5.2	▲ 17.1	▲ 14.7	0.2	10.9	66.9	62.9	99.6
消費者物価上昇率(対前年同期比:%)	1.1	4.3	6.8	7.3	3.7	6.1	3.6	2.4	2.7	2.5	2.6	2.5
登録失業者(千人)	34.4	25.5	25.0	20.8	18.1	19.4	19.6	17.8	18.1	-	15.5	-
対ドル為替レート(トゥグルグ)	2,148	2,441	2,473	2,664	2,813	2,757	2,799	2,847	2,851	2,850	2,850	2,850
貨幣供給量(M2)の変化(対前年同期比:%)	21.0	30.5	22.8	7.0	16.3	3.8	5.5	9.8	16.3	22.9	19.6	22.9
融資残高の変化(対前年同期比:%)	6.1	9.6	26.5	5.1	▲ 4.9	▲ 1.8	▲ 4.6	▲ 4.4	▲ 4.9	2.9	▲ 1.2	2.9
不良債権比率(%)	8.5	8.5	10.4	10.1	11.7	10.7	11.0	11.4	11.7	11.5	11.8	11.5
貿易収支(百万 USドル)	1,558	1,863	1,137	1,492	2,282	▲ 126	494	851	1,064	477	231.2	64.4
輸出(百万 USドル)	4,916	6,201	7,012	7,620	7,576	1,036	1,792	2,319	2,429	2,000	695	666
輸入(百万 USドル)	3,358	4,337	5,875	6,128	5,294	1,162	1,299	1,468	1,366	1,524	463	601
国家財政収支(十億トゥグルグ)	▲ 3,660	▲ 1,742	3	▲ 628	▲ 4,539	▲ 276	▲ 1,922	▲ 541	▲ 1,800	▲ 96	6	17
国内貨物輸送(対前年同期比:%)	20.0	15.3	14.6	7.4	1.1	▲ 6.3	▲ 8.5	1.9	17.0	15.7	-	-
国内鉄道貨物輸送(対前年同期比:%)	7.9	9.1	13.5	13.5	10.3	10.8	12.6	13.0	5.0	4.7	5.5	11.1
国内道路貨物輸送(対前年同期比:%)	78.4	33.6	17.3	▲ 6.6	▲ 24.5	▲ 54.5	▲ 68.8	▲ 19.9	73.1	91.7	-	-
成畜死亡数((対前年同期比:%)	2.3	▲ 38.8	3.0	▲ 58.0	85.0	89.2	78.0	78.4	98.0	1.9	1.9	1.3

(注)消費者物価上昇率、登録失業者数、貨幣供給量、融資残高、不良債権比率は期末値、為替レートは期中平均値。

(出所)モンゴル国家統計局『モンゴル統計年鑑』、『モンゴル統計月報』各号 ほか